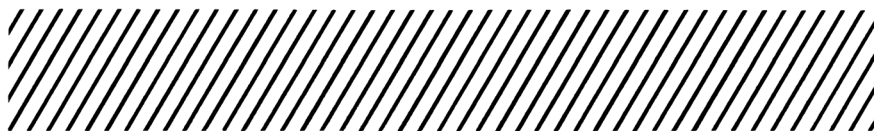




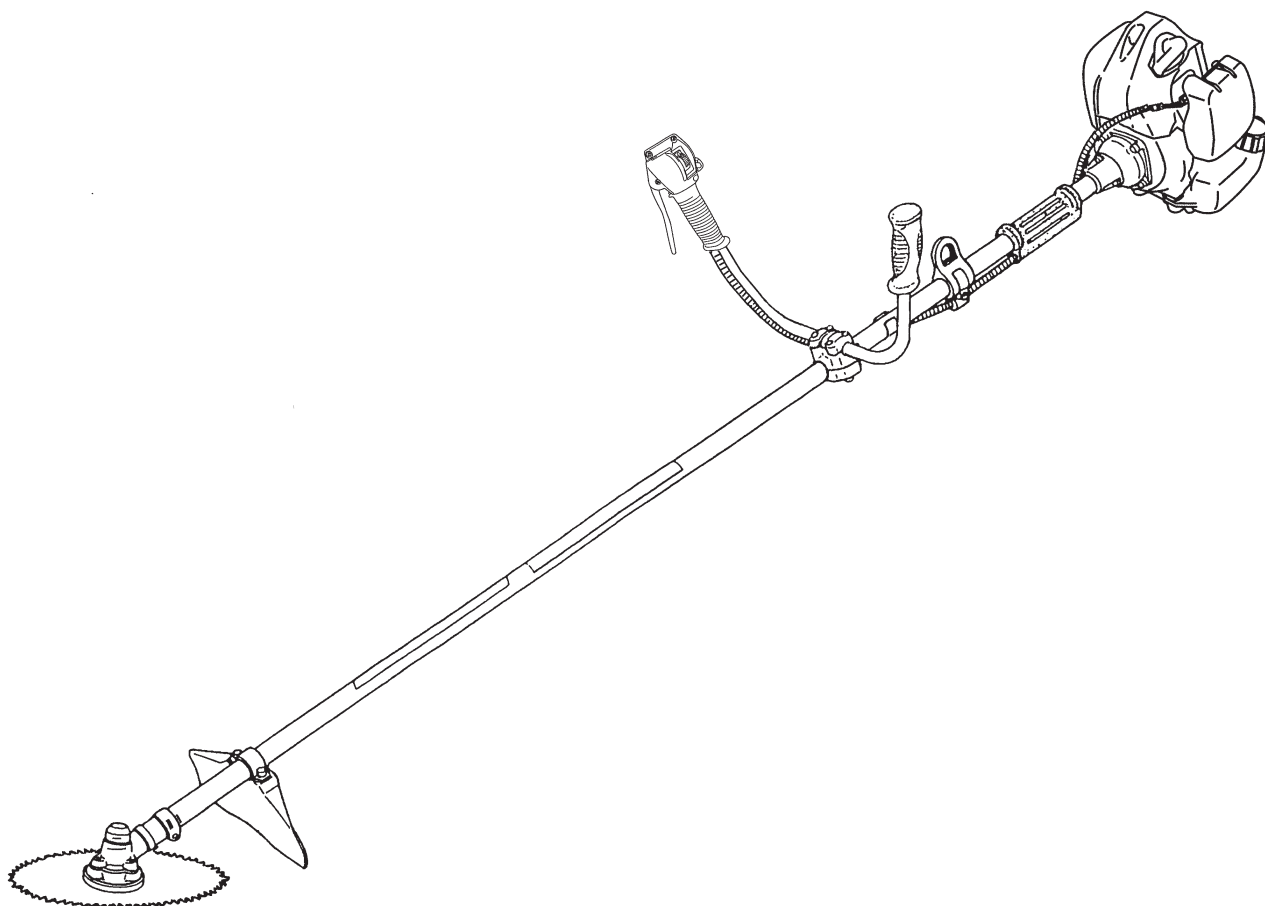
NIKKARI



ニッカリ刈払機

SED-350

安全取扱説明書



注意

- ご使用前に必ずこの安全取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- 安全取扱説明書は大切に保管してください。



株式会社 **ニッカリ**

国内営業部	岡山市東区西大寺川口465-1	TEL (086) 943-0061	FAX (086) 943-0405
東日本営業所	さいたま市北区吉野町1-389-9	TEL (048) 664-5771	FAX (048) 666-3790
西日本営業所	岡山市東区西大寺川口465-1	TEL (086) 943-0062	FAX (086) 943-0405
九州営業所	久留米市国分町二ノ江1172-4	TEL (0942) 21-9718	FAX (0942) 21-1676

このたびはニッカリ刈払機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- この安全取扱説明書は、安全快適にご使用していただくために、ぜひ心掛けていただきたい点について述べてあります。

ご使用前には必ず熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。

お読みになった後も、必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照下さい。

本製品を譲渡または貸与する際は、この安全取扱説明書を必ず添付して下さい。

- 部品のご入用、故障の場合には、お買い求めの販売店または各営業所にお問い合わせ下さい。

⚠のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守り下さい。

⚠ 危険	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。
⚠ 警告	適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。
⚠ 注意	安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

警告表示マークの意味

- この安全取扱説明書に解説されている機械には、下記の警告ラベルが貼付してあります。
ご使用前に警告ラベルの意味を理解して下さい。
- 万ーラベルが読めなくなった場合は、販売店より新しくラベルを購入し貼り替え、常にマークが読めるようにして下さい。



飛散防護カバーは必ずこの位置に取付けて下さい。飛散防護カバーは危険ですので、絶対に取り外さないで下さい。

使用前に取扱説明書を必ず読み理解すること。

キックバックによりケガをするおそれがあるので、障害物に刈刃を接触させないこと。

作業中は目や耳、顔、頭部の保護具を必ず着用すること。

飛散防護カバーを取り外して使用しないこと。外して使用すると、死傷事故の恐れがあります。

排気ガスには、人体に有害な一酸化炭素が含まれています。通気の悪い場所での使用禁止。

引火しやすいガソリンを燃料としています。火気に注意して下さい。

作業中は危険ですので、半径15m以内に人、動物を入れないこと。

飛散防護カバー取付け位置

⚠ 注意

- ・使用前に必ず取付けて下さい。
- ・飛散防護カバーは絶対に取り外さないで下さい。

目次

・安全にご使用いただくために……………P.1	・各部の名称・仕様……………P. 7
・作業中の注意……………P.4	・使用準備(本機の組付・調節) ……P. 8
・刈刃について……………P.5	・運転方法 (始動・停止)……………P.10
・移動時の注意……………P.6	・正しい操作の仕方……………P.10
・日常点検・整備・長期保管……………P.6	・作業終了後……………P.11

⚠ 警告

機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

安全にご使用いただくために・・・

刈払機を安全に使用するために、次の事項は必ず守って下さい。

1. 全般的なこと

(1) 刈払機は雑草を刈るために設計・製造されています。枝打ち作業等には絶対使用しないで下さい。

⚠危険 (2) 長袖、長ズボンを着用（袖じまり、裾じまりのよいもの）し、頭部にはヘルメット等、JIS等の規格に合格した保安帽を着用するとともに、手袋、保護メガネを付け、足元保護のため安全靴を履いて下さい。（P.4 参照）

(3) 呼子（ホイッスル）、斧（おの）、鉋（なた）を用意して下さい。

⚠危険 (4) 飛散防護カバーは必ず所定の位置に取付けて下さい。（P.9 参照）

⚠警告 (5) 過労や飲酒、薬物を服用して本機を使用しないで下さい。

⚠警告 (6) 子供や取扱の指導を受けていない人には使用させないで下さい。

⚠警告 (7) 取扱の指導を受けていない人や扱いに不慣れな人には刈払機を貸さないで下さい。

⚠警告 (8) 夜間及び天候の悪い時は使用しないで下さい。

2. 使用の前に

(1) 機械の点検

⚠注意 ① 各部のゆるみがないか、オイル、グリス、燃料が入っているか、燃料漏れがないかを点検し、異常がないことを確認してから使用して下さい。

⚠注意 ② 2サイクルエンジンですので、燃料は自動車用無鉛ガソリンと2サイクル用エンジンオイルを混合し、よく混ぜ合わせて使用して下さい。混合比を間違えると、エンジンが焼付や摩耗を起こしますので注意して下さい。

◎混合比はエンジンにより異なります。ご使用エンジンの取扱説明書で確認して下さい。

⚠注意 ③ 燃料の補給はエンジンが冷えていることを確認し、火気のないところで行って下さい。

⚠危険 ④ 燃料を補給する時は火気に注意して下さい。「火気厳禁」もし、補給中に燃料をこぼした時は十分に拭きとって下さい。（P.5 参照）

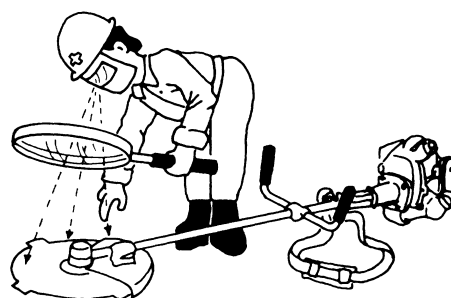
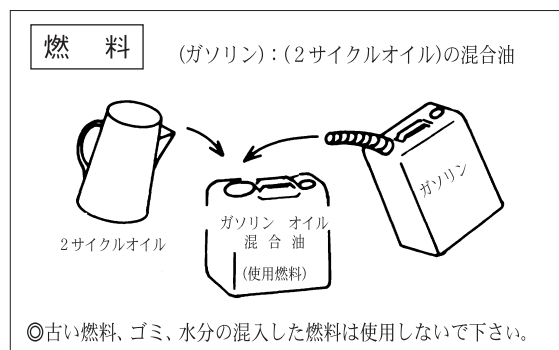
⚠警告 ⑤ 刈刃は、確実に取付られているか、目立はどうか、損傷はないかを確認し、異常のないことを確認してから使用して下さい。（P.9 参照）

⚠警告 ⑥ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて下さい。

(2) 作業場所の点検

⚠警告 ⑦ 空缶、針金、小石等の有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業して下さい。

⚠警告 ⑧ 刈払機の作業から 15 m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないようロープで囲う、立て札を立てる等の警告をして下さい。（P.4 参照）
また、数台同時に作業するときもこの距離は守って下さい。



(3) 作業時間

- ⚠注意** ① 1日の作業時間は2時間以内にして下さい。
- ② 疲労は事故の最大原因です。30分～40分作業したら、10分～20分休憩して下さい。
- 国有林では、作業者の健康管理のため下記のようにしています。

作業は連続3日を限度として

1回の連続作業時間	30分以内
1日の作業時間	2時間以内
1週の作業日数	5日以内
1月の作業時間	40時間以内

(4) エンジンの始動

- ⚠危険** ① エンジンを始動する時は、**周囲（15 m以内）に十分注意し、刈刃は地面にふれないよう**にして下さい。(P.4 参照)
- ⚠注意** ② 屋内では**始動**しないで下さい。
- ⚠注意** ③ 始動は**燃料補給場所とは異なる所**で行って下さい。
- ④ 始動する時、スロットルは**アイドルリング**の状態にして下さい。
- ⚠警告** ⑤ 排気を吸わないよう注意して下さい。
- ⑥ 回転を上げる場合は急激に上げず**徐々に回転を上げて**下さい。
回転は**むやみに**上げないで下さい。

3. 作業時

(1) 運転

- ① 刈払作業は**ゆとり**をもって行って下さい。
- ② 刈払作業は腕力で振り回したりせず**正しい姿勢でバランスを取って**行って下さい。
- ③ エンジンの回転速度をむやみに上げず、メーカーの推奨する**回転速度**を守って下さい。
- ⚠危険** ④ **危険**を感じた時は直ちにエンジンを**停止**するか、**肩掛けバンドを外す**等、刈払機を身体から離して下さい。
- ⚠注意** ⑤ 刈刃が石等の硬いものに当たった時は、すぐに**エンジンを停止**し、刈刃に異常がないかを確認して下さい。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換して下さい。
- ⚠注意** ⑥ 刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は、必ず**エンジンを停止**してから草等を取り除いて下さい。(P.4 参照)
- ⑦ 刈刃は**右から左へ**掃くように作業して下さい。
- ⚠警告** ⑧ 刈払作業以外に刈刃を回転させたり、水や土を切ったりしないで下さい。
- ⚠警告** ⑨ 刈刃は必ずメーカー指定の**純正部品**を使用して下さい。(P.5 参照)
- ⚠危険** ⑩ 飛散防護カバーは必ず**所定の位置**に取付けて作業して下さい。**取外すことは危険**ですので絶対外さないで下さい。(P.9 参照)
- ⚠注意** ⑪ エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。ハンドル等をしっかりと握って下さい。
- ⚠注意** ⑫ 2人以上で作業する場合は呼び子等での**合図の方法**をあらかじめ決めて、合図の徹底を図って下さい。
- また、人と人の間は15 mを保って下さい。

⚠️注意 ⑬ 作業中に立ち話は絶対しないで下さい。話をする時はエンジンを止めて下さい。

⚠️危険 ⑭ 電気ショックを受ける可能性がありますので、作業中は点火プラグキャップ部、高圧線に触れないで下さい。

⚠️警告 ⑮ 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラ等に触れないで下さい。

⚠️注意 ⑯ 場所を移動する時、刈払機を地面に降ろす時、作業を中断する時は必ずエンジンを停止してから行って下さい。

⑰ 刈払機が故障した時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。

(2) 服装 (P.4 参照)

① 作業の行い易い服装で作業して下さい。

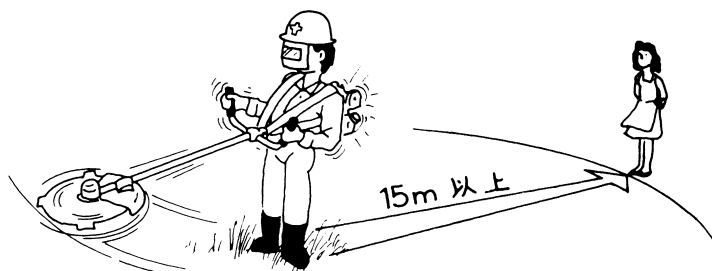
⚠️注意 ② 作業時は手袋を着用して下さい。

⚠️注意 ③ 帽子、ヘルメットをかぶって下さい。

⚠️注意 ④ 目の保護のため、保護メガネを付けて下さい。

⚠️注意 ⑤ 耳を保護するため、適正な防護具（耳栓等）を使用して下さい。

⚠️注意 ⑥ 安全靴を履いて下さい。



4. 作業後

(1) 使用後の手入れ

① エンジン停止後は燃料コックを閉めて下さい。(ダイヤフラム式化器のエンジンではこの操作は不要です。)

② 全体のチリやホコリをよく取り除いて下さい。特にエンジンのエアクリーナ部分や冷却風取り入れ口の付着物に注意して下さい。

⚠️警告 ③ 各部の締付けネジの緩みがないか、刈刃に損傷ないかを点検し、ネジの緩みがあれば締付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換して下さい。(P.5 参照)

⚠️警告 ④ ボルトカバーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換して下さい。

⑤ 燃料やギヤケースのグリスもれがないかを点検し、もれがある場合は修理して下さい。

⑥ 修理・調整するときはエンジンを停止し2次コードをプラグから外して下さい。

⚠️警告 ⑦ 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をお使い下さい。

(2) 保管

① 各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のためオイルを薄く塗って下さい。

② 燃料タンク、キャブレタに残っている燃料は全部抜き取って下さい。

③ 点火プラグを外し、プラグの穴から少量のオイルをシリンダに流し込み、リコイルスタータを数回引きオイルが行き渡るようにして下さい。

④ リコイルスタータを引張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めて下さい。

⑤ 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納して下さい。

⚠️注意 ⑥ 子供の手の届かないところに保管して下さい。

⑦ 刈払機を移動、保管する場合は安全のため必ず、付属の刈刃プロテクタを取付けて下さい。

⑧ 湿気のないゴミ、ホコリの付かないところに格納して下さい。

⑨ 燃料を保管する場合ポリ容器は使用しないで下さい。

(1ヶ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。)



作業中の注意

⚠️ **警告** ・安全のため、刈刃類は必ず当社指定のものをご使用下さい。

⚠️ **警告** ・「キックバック（はね返り）」

高速回転している刈刃が、石や樹木、杭、コンクリートなど硬くて切れない固定物に触れた際に、刈刃部がはね返されるキックバックが起こります。キックバックが起きると、機体が思わぬ動きをするため、正常な操作ができなくなる危険があります。また、刈刃が損傷したり、障害物が砕けたりして破片が飛散するおそれがあります。

⚠️ **注意** ・作業をしないときは、むやみに回転を上げないで下さい。必ず回転を落すようにして下さい。無駄なからぶかしは機械の寿命を縮めるものです。

・作業はそでじまり、すそじまりのよい、きちんとした服装で行って下さい。

⚠️ **危険** ・無理な姿勢での作業は大変危険です。ハンドルは、両手でしっかり握り、両足に平均に体重がかかるよう適当に開いてご使用下さい。

⚠️ **危険** ・エンジンを始動する場合や、刈払機を運転する場合は、周囲の安全を確認し、足場のよい所で、安全な姿勢で行って下さい。

⚠️ **危険** ・作業中に異常な振動・音を感じた時には必ずすぐにエンジンを停止し各部の点検修理をして下さい。

⚠️ **注意** ・刈刃は石、切株などに当てないように作業して下さい。万一、当てたときは、直ちに作業を中止して、刈刃の欠け、われがないか確認して下さい。

⚠️ **危険** ・足をすべらせてころんだ時、穴に落ちこんだ時は、必ずスロットルレバーを戻し、刈刃を地面につきさして、回転をストップさせて下さい。

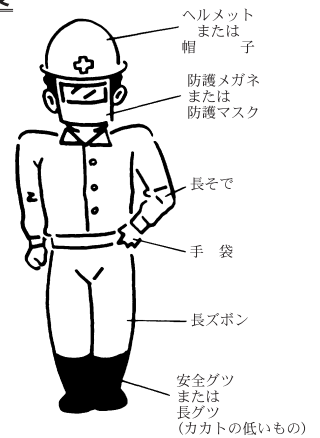
⚠️ **危険** ・雨中および雨上りは、足元がすべりやすく大変危険ですから、注意してご使用下さい。

⚠️ **注意** ・2人以上で作業する場合は、必ず15m以上の間隔を保って下さい。

⚠️ **危険** ・うしろから声をかけられた場合、作業状態のまま急にふり向かないで下さい。必ずエンジンを一時停止して注意して下さい。

⚠️ **危険** ・作業中に刃物につるや草などがからみついたときは、必ずエンジンを停止し、回転が止まったことを確認してから取り除いて下さい。

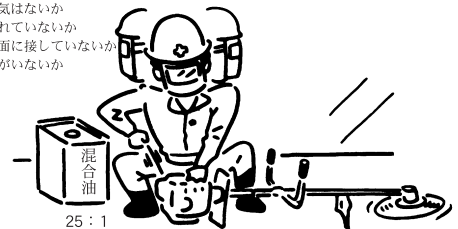
服装



始動

⚠️ **注意**

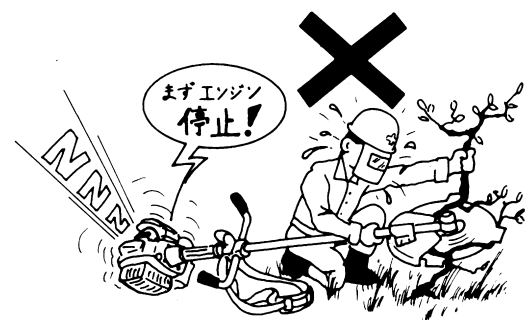
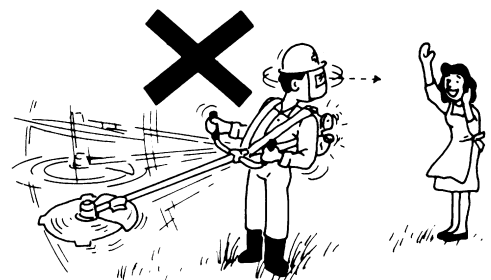
- ・近くに火気はないか
- ・燃料はもれていないか
- ・刈刃が地面に接していないか
- ・周囲に人がいないか



作業中

⚠️ **注意**

- ・近くに人がいないこと
- ・飛散防護力バーは必ずつけること
- ・15m以上離れていること



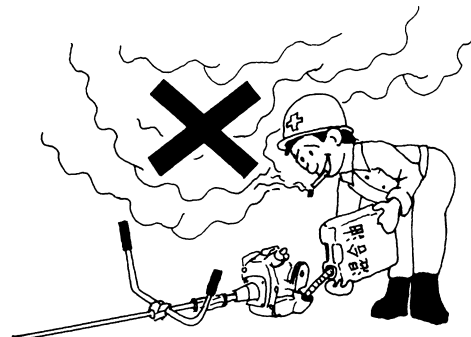
エンジンがかかっている時は、絶対に刈刃や飛散防護カバーにふれないで下さい。

- ⚠ **危険** ・エンジン停止後は、マフラが熱いので枯草等燃えやすい場所へ、絶対に置かないで下さい。
- ⚠ **注意** ・始動・運転中・停止直後はマフラなどの高温部、高圧線に触れないようにご注意下さい。
- ⚠ **注意** ・燃料を補給する時は、必ずエンジンを停止し、冷えてから補給して下さい。

エンジンの回転中および運動して暖まっている時は補給しないで下さい。また、補給中にこぼした時は、ウエス等でよく拭き取ってから始動して下さい。

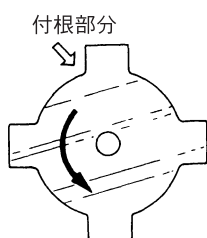
- ⚠ **危険** ・燃料は、大変引火しやすいので特に注意して下さい。

燃料を補給している時やエンジンの手入れをしている時は、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないようにして下さい。

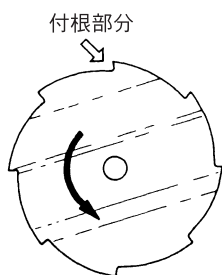


刈 刃 に つ い て

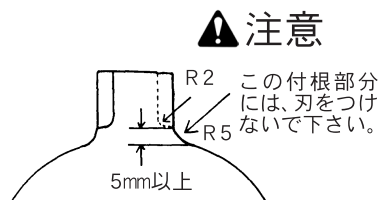
4 枚刃



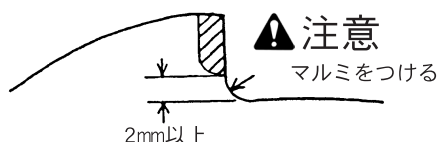
8 枚刃



4 枚刃 (刃の裏面から見て)



8 枚刃 (刃の裏面から見て)



○ニッカリ刈払機用の純正品をご使用下さい。

- ⚠ **注意** ・刈刃の外径は255mm (10インチ) またはそれ以下のものをご使用下さい。

- ⚠ **注意** ・刈刃は、良く切れる状態か、刃こぼれ、曲り割れ等がないか注意深く点検してからご使用下さい。特に使用中、刃先に石などにあて急激なショックを受けた時は、直ちにエンジンを停止し、点検して下さい。

- ・草刈作業の場合30～40分使用したら、刈刃を研ぐか又は交換して下さい。能率が上がり安全で、疲労が少なくてすみます。(4枚刃の場合は、裏返して使用できます。)

- ⚠ **注意** ・本刈払機は、草刈作業のみにご使用下さい。

- ⚠ **危険** ・2枚刃および3枚刃は絶対に使用しないで下さい。

○刈刃の研ぎ方

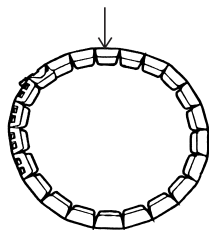
- ⚠ **注意** ・刃の付根部分には必ずマルミをつけて下さい。マルミをつけないと、使用中、付根部分から割れることがありますので注意して下さい。

- ⚠ **注意** ・グラインダーで研ぐ時は、強く押しつけたり、水の中に急に入れて、冷やさないように注意して下さい。

- ⚠ **注意** ・刈刃のバランスに注意して下さい。
刈刃の形や大きさが全て同じになるように研いで下さい。バランスがくずれると振動源となります。

移動時の注意

刈刃プロテクタ



- ⚠️ **注意** ・本機を移動する時、もしくは格納する時は、必ず刈刃プロテクタを刈刃につけて下さい。
- ⚠️ **注意** ・トラック等の荷台に本機を積み移動する場合は、飛びはねないようにしっかりと固定して下さい。
- ⚠️ **注意** ・自転車やオートバイの荷台に乗せて移動しないで下さい。

日常点検・整備・長期保管

点検・整備

始動前に必ず点検を行なって下さい。

- ・刈刃の切味、ひび割、偏心、偏摩耗はないか。
- ⚠️ **注意** ・刈刃締付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷はないか。
- ・各部に油もれはないか。
- ・エアクリーナエレメントは汚れていないか。
- ・燃料は充分あるか。
- ※その他複雑な調整・修理は購入代理店にご相談下さい。

⚠️ 注意 《点検整備表》

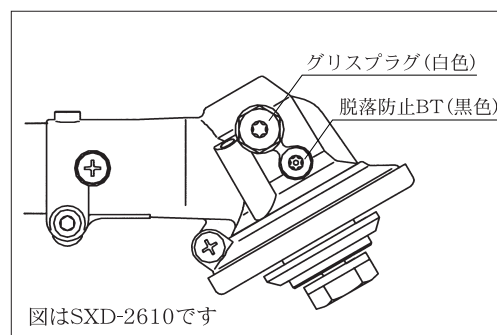
項目	使用時間	毎日	20時間	50時間
ボルト、ナットのゆるみ点検		○		
燃料もれ点検		○		
点火プラグの清掃と間隙調整			○	
ボルト、ナット等の増締め				○
エアクリーナエレメント清掃			○	
ギヤケースのグリス補給			○	
排気孔、マフラのカーボン除去				○
気化器の点検、清掃				○
遠心クラッチ、ライニング面の点検				○

〈注意〉機械の寿命は、手入れの良否によります。上記の表の項目について点検整備を行って下さい。時間数は標準的な目安ですので、負荷状態や使用環境によって適宜増減して下さい。

グリスの注入

グリスはエッソのリスタンEP2相当のものを20時間毎に補給して下さい。

- ① グリス注入口のグリスプラグ（白色）を取りはずす。
 - ② グリスを注入する。
 - ③ グリス注入口のグリスプラグ（白色）を取りつける。
- ※グリスプラグの下にある脱落防止BT（黒色）はギヤケースが摩耗した時に刈刃が抜け落ちるのを防ぐためのものです。決して触らないで下さい。



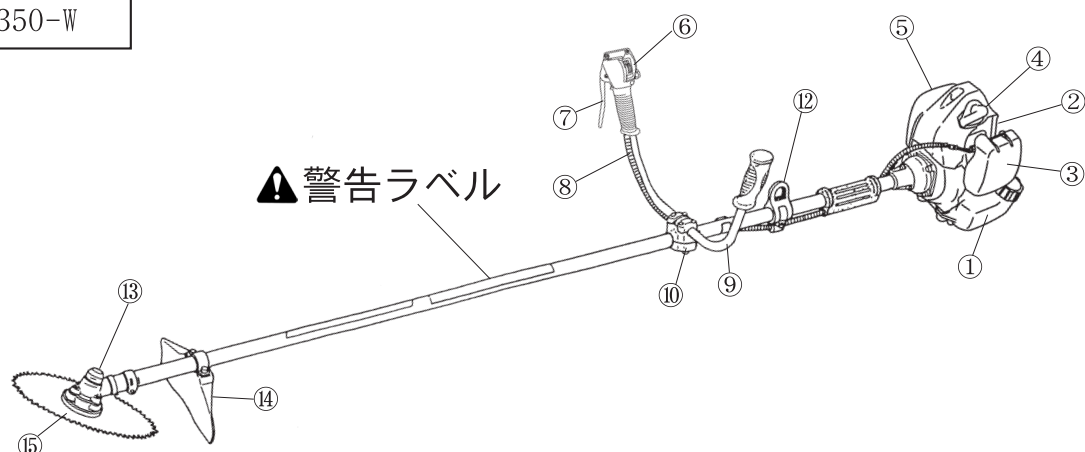
長期保管

- ① 2週間以上使用しない場合は、**燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出**して下さい。
- ② キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ低速のままで、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
- ③ エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取除いて下さい。
- ④ 点火プラグ取付穴より2サイクルオイルを数滴注入し2～3回コイルスタータを引っ張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着して下さい。
- ⚠️ **注意** ⑤ エンジンが充分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気やほこりの少ない場所に保管して下さい。

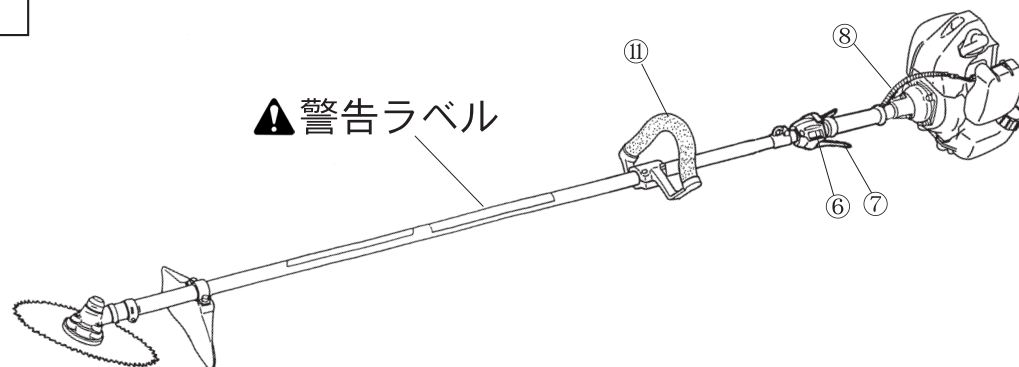
各部の名称・仕様

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| ① 燃料タンク | ⑥ ストップスイッチ | ⑪ ループハンドル |
| ② リコイルスタータ | ⑦ スロットルレバー | ⑫ ハンガー |
| ③ エアクリーナ | ⑧ スロットルワイヤ | ⑬ ギヤケース |
| ④ スパークプラグ | ⑨ 両手ハンドル | ⑭ 飛散防護カバー |
| ⑤ マフラ | ⑩ ハンドル固定具 | ⑮ 刈刃 |

SED -350-W



SED -350-L

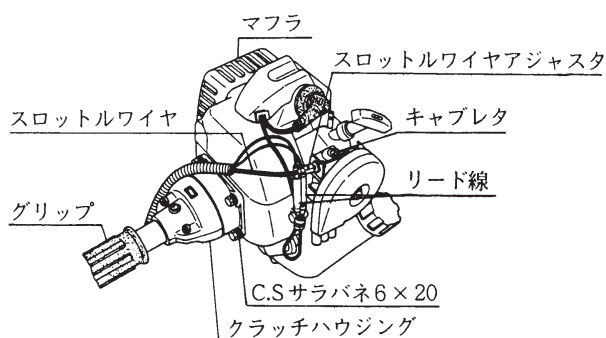


型 式	長×幅×高 mm	乾燥重量kg	刈刃(径)mm	防 振 装 置	ハンドル	備 考
SED -350-W	1,800×580×410	6.6	255	ハンドル 防振 ハウジング	両 手 ハンドル	
SED -350-L	1,800×260×245	6.3	255	ハウジング 防振	ル ー プ ハンドル	

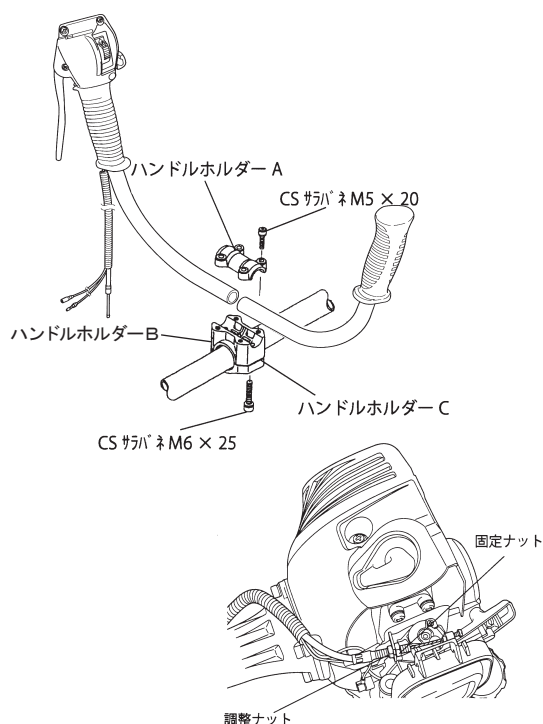
⚠ 警告 2枚刃、3枚刃のような衝撃の大きい刃は使用しないこと。

※エンジンはエンジン取扱説明書を参照して下さい。

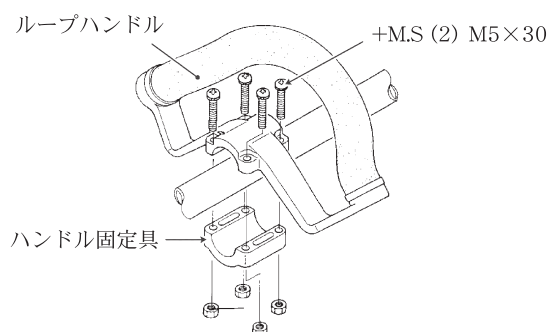
使用準備（本機の組付・調節）



☆両手ハンドル



☆ループハンドル



1 エンジン・スロットルワイヤ・リード線の組付

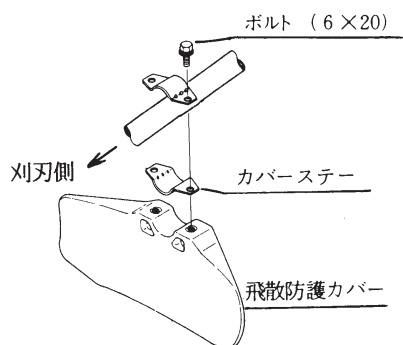
- エンジンは、クラッチハウジングのエンジン取付穴とエンジンのボルト穴を合わせ、4本のC.Sサラバネ（6×20）で締付けます。
- スロットルワイヤは、図のようにグリップ下部の穴からマフラ側に回し、スロットルワイヤアジャスタに差し込みキャブレタに接続します。
- リード線は図のように接続します。

2 ハンドル(両手ハンドル)・スロットルレバー・スロットルワイヤリード線の組付

- 両手ハンドルをハンドルホルダーBに載せます。
- ハンドルホルダーAをかぶせCSサラバネ(5×20)4本で締付けます。
- 使用者の体格に合わせ、ハンドルホルダーCを固定しているCSサラバネ(6×25)をゆるめ前後に調整できます。
- ハンドル取付後は、エンジンのキャブレタ側の固定ナットと調整ナットでワイヤの調整を行って下さい。
- 1～2mmの遊びを持たせて下さい。

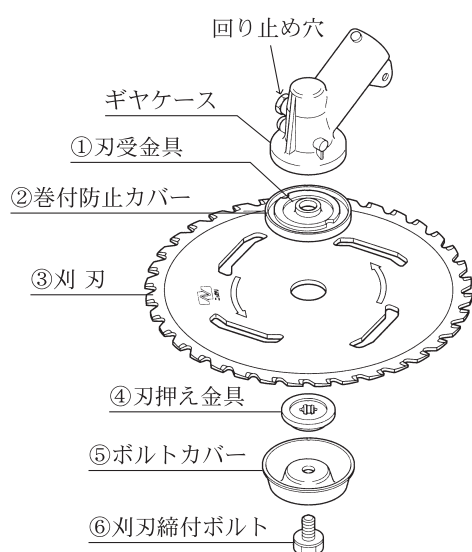
（ループハンドル）の組付

- ①ハンドル取付位置と表示してあるところにループハンドルを載せます。
- ②ループハンドルとハンドル固定具を+M.S (2) M5×30で均等に締め付けます。
- ③ハンドル取り付け後は、エンジンのキャブレタ側に付いているスロットルワイヤアジャスタでワイヤの調節をします。
- 1～2 mmの遊びを持たせてください。



⚠危険 3 飛散防護カバーの組付

- カバー取付位置と表示してあるところにカバーを組付け、上から飛散防護カバーステーと共に2本のボルト (6×20) で締付けて下さい。



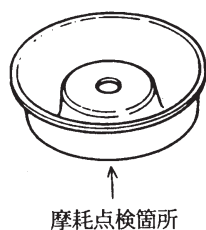
⚠危険 4 刈刃の組付・取外し

- 刈刃は図のような順序①→⑥で組付けます。刃受金具に刈刃の取付け穴が確実に入っていることを確認し、ギヤケースの回り止め穴と、刃受金具の回り止め穴にLレンチを完全に差し込みソケットレンチ 19 で十分に刈刃締付ボルトを締付けて下さい。
- 取外しは逆の手順で実施して下さい。
- 刈刃の組付・取外しときは、手袋をして安全に注意して、作業をして下さい。
- 締付けトルク：17～20Nm
締付けはトルクレンチで確認して下さい。

※刈刃締付ボルトは 左ネジです。

⚠警告 5 ボルトカバーの点検・交換

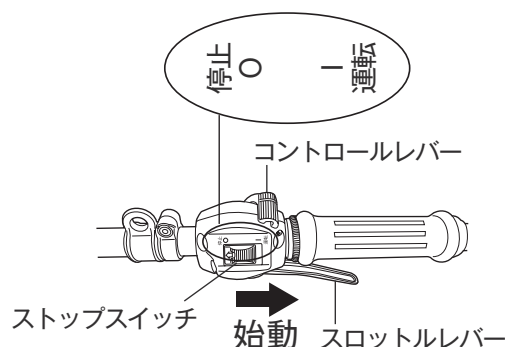
- ボルトカバーは消耗部品です。
ボルトカバーの地面に接する部分の摩耗が進み、極限に達しますと、脱落・飛散する恐れがあり危険ですので早めに交換して下さい。
使用する条件により異なりますが、10 時間程度の使用を交換の目安として下さい。
- 交換の手順は 4 刈刃の取付・取外しを参照して下さい。



運転方法（始動・停止）

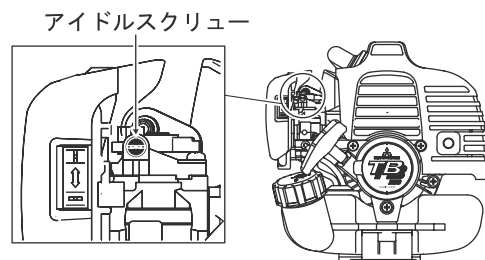
※始動のやり方は、別紙エンジン取扱説明書をお読みください。

1. ストップスイッチを「運転（I）」側にスライドしているか確認してスロットルレバーをにぎらず始動してください。
2. 1分程度暖機運転をした後、振動・異音等に注意しながらスロットルレバーをにぎりコントロールレバーを除々に引いて回転を上げます。
 - 特に、刈刃の付近に異常・ガタツキがないか注意してください。
3. スロットルレバーを放し、刈刃が回転しないエンジン回転数まで下がることを確認します。



◆エンジン回転が下がらない場合

1. スロットルワイヤがキャブレタやスロットルレバーにきちんと差し込まれており、スロットルワイヤがスムーズに動き、キャブレタが全閉まで戻るか確認します。
2. 上記の調整後、アイドルスクリューで刈刃が、回転せずエンジンが止まらず安定する程度にエンジン回転数を下げます。
 - 右に回す……回転数が高くなる
 - 左に回す……回転数が低くなる

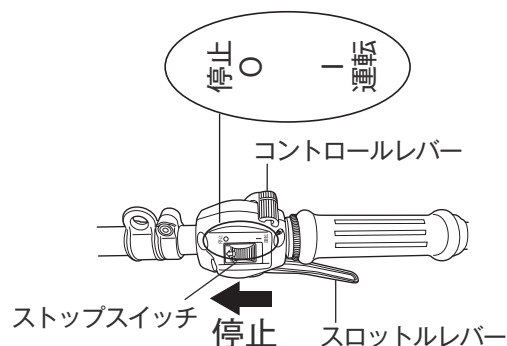


◆停止のしかた

1. スロットルレバーを放してエンジンの回転を落します。
2. ストップスイッチを「停止（O）」にスライドしてエンジンを停止してください。

引き続き後の作業がない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取ってください。

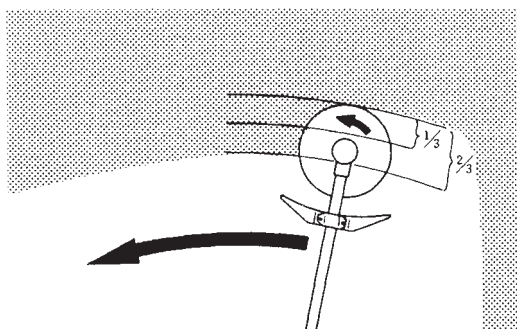
その後、再始動して気化器内の燃料を使い切ってください。



正しい操作の仕方

○草刈専用

・本機は草刈のみご使用下さい。

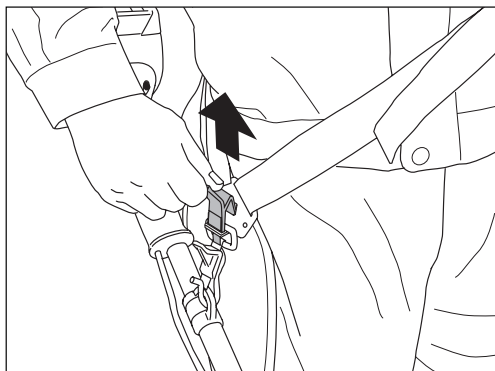


操作方法

- ・機体は、右から左に振って草を刈ります。
- ・身体を左右に振るようにして楽な姿勢で作業を行い、刈り取られた草を左に寄せるようにして前進します。
- ・回転刃の切れ味は、先端から1/3あたりが最高です。草を刈る場合は先端から2/3の範囲を使うようにすれば、刈り残しがありません。

- ⚠ **危険** ・刈刃で打つ、たたく等の方法での刈払いは行わないで下さい。
- ・低速回転でも、作業はできますが、草が巻きつくことがありますのでご注意下さい。

○肩掛けバンドの掛け方及び離脱方法



<掛け方>

- ・バンドの長さ及びハンガーの位置は、使いやすいように調節して下さい。
- ・自然に持って、刈刃が地面より 5 cm 程度離れるぐらいが最適です。

<離脱方法>

- ・緊急の場合、離脱ベルトを上方（矢印）に強く引くと、本機を身体から離脱することができます。

作業終了後

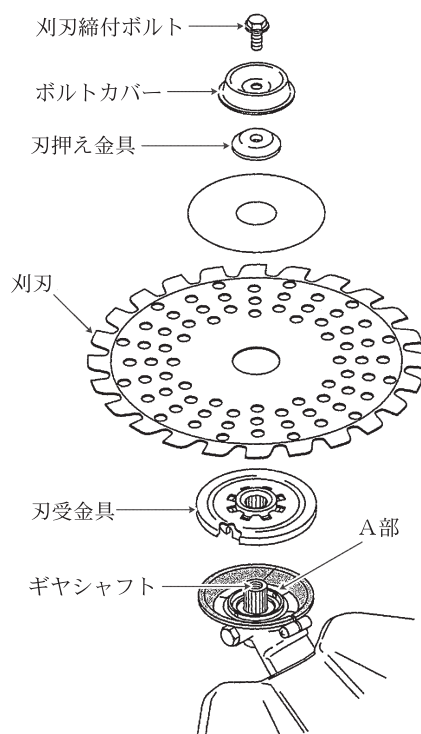
- ⚠ 警告** 各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ⚠ 警告** ボルトカバーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換してください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ⚠ 警告** 点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ⚠ 警告** 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ⚠ 警告** 高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。
※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

① 刈刃締付ボルトを外します。

② ボルトカバー、刃押え金具、刈刃、刃受金具のすべてを外します。

③ ギヤケースのギヤシャフトの回りのゴミ（土、砂、草片）をきれいに掃除します。（右図A部）
ギヤシャフトに草、ナイロンヒモ等が巻き付いている場合もすべて取り除きます。

④ 清掃後は、元の状態に組付けます。



※ イラストは、反転した状態です。

